

フルーツ王国

# 福島市



## 風望天流のお宿

分科会会場:福島市  
 宿泊場所:土湯温泉 山水荘  
 〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町油畑55  
 募集定員:25名  
 現地経費:15,000円(相部屋)  
 ●17日(土) / 昼食費 1,500円  
 宿泊費 10,950円(1泊2食付)  
 こけし絵づけ体験料 950円  
 ●18日(日) / 昼食費 1,600円  
 ※費用については全て税込となります。

## 温泉と再生可能エネルギーで復興再生へ

～地域住民との合意形成の中で生まれた新たな産業とまちづくり～

**内容紹介** 2011.3.11の東日本大震災と原子力発電所事故は、温泉町での将来の生活に不安を与える出来事でした。この不安の中で、地域住民の有志が集まり、将来の目標とする温泉町の姿を描き、実行に移した経過と現状についてご紹介します。大震災と原発事故発生から7年以上経過しましたが、5軒の旅館の減少と根強く残る風評被害は交流人口を大きく減少させ、その結果、地域住民の減少と少子高齢化に歯止めがかからず、空き家が増加する一方です。これをどうしたら歯止めをかけることができるのか、お互いのまちづくりの悩みを通じて語り合い、知恵を出し合ひましょう。



### 体験を通して知る、福島の新産業

震災時の津波で被害甚大であった相馬市松川浦沖でとれた魚介類の昼食をご賞味いただけます。昼食後に津波被害から復興した海水浴場、津波被害の歴史を記憶にとどめるための相馬市伝承鎮魂記念館を見学いただけます。ここから福島市に向かうにあたって復興のリーディング事業ともなっている相馬福島道路を走行し車窓から阿武隈山系の紅葉と暮らしをご覧ください。  
 分科会会場到着後は震災後からのまちづくりと課題等について講演させていただきます、その後夕食を取りながら地域住民の皆さんと懇親交流を図っていただきます。  
 2日目は日本でもめずらしい温泉熱で発電するバイナリー発電や砂防ダム堰堤の落差を利用した小水力発電施設を見学いただけます。また、オニテナガエビの養殖事業を見学いただくとともにエビ釣りの体験に挑戦していただきます。そして、土湯温泉の歴史を知っていただく上で伝統工芸品であるこけしの絵づけ体験にも挑戦していただきます。温泉を楽しみ、思い出に残る1日をご提供させていただきますので、多くの方の参加をお待ちしています。



### 分科会スケジュール 全体会会場から分科会会場までバスでご案内します。

11/17 土曜日	12:30	13:30	14:30	17:00	19:00	21:30
	全体会会場出発	相馬市荒浜で昼食	震災後の姿を見学しながら土湯温泉町へ	分科会・講演会	分科会交流会(パーティー形式)	夜なべ談義(自由参加 ※参加費別途)
11/18 日曜日	8:30	9:00	10:00	12:00	12:30	15:00
	宿泊施設出発	バイナリー発電、エビ養殖場視察	土湯温泉街 親水公園・小水力発電、温泉街視察、こけし絵づけ体験	エビ釣り体験	土湯温泉街出発	四季の里で昼食(工芸館等見学) → JR福島駅にて解散

お問い合わせ先  
**土湯温泉町地区まちづくり協議会**  
 〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町字上ノ町1

TEL.024-595-2217 担当 池田  
 FAX.024-595-2016 mail:ikedao1@tcy.jp

